

## 千葉県協会主催大会開催のためのガイドライン

### 0 開催の条件

- (1) 政府の緊急事態宣言が解除されており、かつイベント開催の自粛要請が解除されている  
ただし、全国、関東などの上位大会につながる予選会は十分な感染症対策を取ったうえで実施を検討する
- (2) まん延防止等重点措置の適用期間中は、感染症対策を十分にとったうえで各カテゴリーに応じて実施の可否を検討する
- (3) 大会に使用する会場が運営されており、移動手段を含めて大会に必要な環境が確保できる
- (4) 参加チームに十分な練習期間が確保されており、選手が身体的に試合に出る準備ができている
  - ① 小学生、中学生、高校生においては、学校教育活動が行われており、部活動(クラブ活動)が実施できる状況になり、2週間程度の準備期間を設けていること
  - ② 大学、社会人においては、それぞれの選手の年齢、技術、強度レベル、成熟度などにに基づき判断し、十分な期間が確保されている
- (5) 大会中のけがや熱中症発生などの緊急時に対応できる医療機関を事前に把握すること

### 1 大会の開催

- (1) 政府あるいは自治体などによるイベントの開催に関する制限がすべて解除となるまでは、原則として無観客試合で実施することとする
- (2) 無観客試合において、会場内に入場できる関係者の範囲をチーム関係者のみとするか、保護者なども含めるかなどの判断については、その時点における状況に鑑みて大会ごとに定めることとするが、極力少人数とすることを検討する

### 2 大会運営

- (1) 試合の日の前日あるいは当日に、適切な方法、範囲で会場を清掃・消毒をする
- (2) 会場には、アルコール消毒液、非接触型の体温計などの資材を必要数準備する
- (3) 会場に出入りする関係者は必要最低限の人数とする
- (4) すべての関係者は以下に従うこととする
  - ① 選手はコート上で活動する場合を除き、原則マスクを着用すること(ベンチ内もマスク着用)  
ベンチでの会話は極力控え、拍手での応援を基本とする
  - ② 不要な会場内の諸室への出入りを行わないこと
- (5) すべての関係者が会場に入場する際には、健康チェックリストを作成し、当日に提出する ※別紙参照
  - ① 氏名、生年月日、住所、連絡先
  - ② 競技会当日の朝の検温
  - ③ 競技会前2週間における以下の事項の有無
    - 37.5度以上の発熱
    - 咳、のどの痛みなどの風邪の症状
    - だるさ(倦怠感)、息苦しさ(呼吸困難)
    - 嗅覚や味覚の異常
    - 体が重く感じる、疲れやすい
    - 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
    - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる
    - 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間が必要とされている国、地域などへの渡航または当該在住者との濃厚接触がある

(6)会場については、以下の点に留意すること

- ①各会場にアルコール消毒液や手洗い用ソープなど必要な感染対策の準備をすること
- ②会場における人の動きを最小限にできるように計画を立てる
- ③屋内会場では扉、窓を開放して実施する。常時開放できない場合にはハーフタイムに開放するなど換気を積極的に行うこと
- ④更衣室や会議室を利用する場合は、利用人数・時間の制限、定期的な換気を行う
- ⑤会場内で使用した部屋は使用後消毒を行う
- ⑥各チームで出たごみはすべて持ち帰る(会場で購入した飲料容器なども含む)

3 参加条件(以下の条件が満たされていない場合、大会に出場できない)

- (1)2(5)で示した健康チェックリストを当日に提出する
- (2)高校生以下の大会において、出場選手の保護者が大会の参加に同意している

4 事後対応

- (1)感染が発生した場合に備え、個人情報の取り扱いに十分注意しながら、競技会当日に会場に入場するすべての参加者から提出された健康チェックリストを少なくとも1ヶ月間保存しておく
- (2)競技会終了後2日以内に、体調不良の選手・役員が出た場合、チーム責任者は速やかに大会主催者に連絡をする
- (3)運営スタッフの中から競技会終了後2日以内に新型コロナウイルス感染症の感染が判明した場合、保健所の指示に従う

附則

このガイドラインは2020年6月27日より施行

附則

このガイドラインは2021年9月18日より施行